

(別紙様式)

(A3判横)

# 令和2年度 学校自己評価システムシート ( 県立浦和西高等学校 )

目指す学校像	自主自立の精神を生かして、国際社会に貢献できる人材を育成し、地域に信頼される進学校
--------	---

重点目標	1 確かで高度な学力を確立し、第一志望を実現する質の高い授業の実践 2 地域に信頼され貢献できる生徒の育成 (信頼される人間力の育成) 3 たくましく健やかな心身の育成
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>昨年度、国公立大学合格者数は、好結果となった2年前をさらに上回る成果を上げた。学習指導・進路指導の両輪が生徒の意欲・能力を伸ばさせており、本校が躍進の時期にあることが伺える。</p> <p>創立90周年に向け「UNビジョン90」を推進し、「確かで高度な学力」を身につけさせ、第一志望実現を達成させる。</p>	<p>「確かで高度な学力」を身につけさせるとともに、高い志を持って目標を設定し、第一志望実現に挑む生徒を育成する。</p> <p>生徒一人一人の進路希望を実現する質の高い授業と学習環境の整備を推進する。</p>	<p>1 「確かで高度な学力」の育成、第一志望の実現</p> <p>①組織的・計画的な進路指導の推進と新制度入試・新傾向問題に関する情報の積極的な提供、進路相談や個人面談等による個に応じたきめ細かな進路指導の実践</p> <p>②県指定事業「大学進学指導拠点校」を中核に据えた新教育課程編成、学習指導・進路指導の研究と改善充実</p> <p>2 質の高い授業の実践</p> <p>①生徒による授業評価アンケートの実施(年2回)</p> <p>②シラバス「西高CAN-DOリスト」を活用したPDCAサイクルに基づく授業改善</p> <p>③「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善(公開研究授業への参加、授業相互見学の実施等)</p> <p>④ICTや知識構成型ジグソー法などを用いた授業(教科横断的な授業改善の在り方を研究)</p>	<p>①国公立大学合格者・難関私立大学合格者の増加(目標:国公立大学合格100名以上、難関私立大学合格10%増)</p> <p>②新教育課程編成や大学入学共通テストに向けての取組状況</p> <p>①授業満足度85%以上</p> <p>②「西高CAN-DOリスト」達成度80%以上</p> <p>①授業見学・研修会等への参加教員の増加</p> <p>②研修会の実施や取組状況</p>	<p>1 大学入学共通テスト導入で安全志向への傾倒が予想されたが、本校では推薦系受験者数の増加は前年比わずかに1割であり、第一志望実現に挑む生徒の育成を、進路指導部・学年・教科の組織的取組により実現した。</p> <p>①年内入試における国公立大学現役合格者数9名(前年11名)。</p> <p>②新教育課程については編成作業を完了した。また、大学入学共通テストについては、受験料は学年全体の97%(前年99%)。国公立大学出願に必要な5(6)教科7(8)科目受験率は同48%(前年48%)。</p> <p>2 解説スライドや図表、写真、動画、音声等を効果的に使用した質の高い授業が普通教室で日常的に行われ、ClassiやZoom、Google Classroom等を用いた動画配信やオンライン授業も時機を待たず実施され、生徒の学力向上を個々の教員の高い専門性と教科の組織力で実現した。</p> <p>①授業満足度87.9%(前年84.8%)。</p> <p>②西高CAN-DOリスト達成率82.7%(前年81.0%)。</p> <p>③④授業相互見学434回(前年249回)。各種授業力向上研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため全体的に中止。</p>	B	<p>・創立90周年に向け「UNビジョン90」を推進する。</p> <p>・大学入学共通テストの動向に注視し、対応する。</p> <p>・ICTを活用した学習指導を一層充実させる。</p>
2	<p>教育活動の状況を丁寧に発信するとともに、地域との連携を継続していることにより、本校に対する地域からの信頼は高まっている。これまで以上に信頼を高めるためには、生徒・保護者・学校が一体となって、地域や社会に貢献するとともに、学校情報を積極的に発信し、本校の魅力を伝えていく必要がある。</p>	<p>西高の魅力度について情報発信の方法を工夫するとともに、質の高い情報を提供し、地域に一層信頼される開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>自ら率先して地域との交流や社会貢献活動に取り組むことができる生徒を育成する。</p>	<p>1 本校の魅力・取組・生徒の活動の発信</p> <p>①「学校通信」の定期的発行(校長)</p> <p>②HP「西高Hot news」等の積極的発信(各担当)</p> <p>③スマート連絡帳の随時更新(教員)</p> <p>④学校説明会の効果的な実施と、部活動見学会の開催</p> <p>⑤PTA・後援会・地域住民参加者数</p> <p>2 地域との交流活動・社会貢献活動の拡充</p> <p>①小学校・中学校・高校・特別支援学校等と連携した交流活動の実施</p> <p>②地域との交流活動(斜面林友の会・地元自治会等)や社会貢献活動(ボランティア等)への参加促進</p> <p>③生徒会と生徒指導部との連携による、マナー指導の徹底</p>	<p>①「学校通信」の発行数</p> <p>②ホームページの更新回数</p> <p>③スマート連絡帳の更新状況</p> <p>④入試倍率:1.50倍以上</p> <p>⑤PTA・後援会・地域住民参加者数</p> <p>①小学校交流等の参加者数</p> <p>②交流活動等への参加者数</p> <p>③生徒会とタイアップしたマナーの取り組み状況</p>	<p>1 学校情報を多角的に発信し、多くの反響をいただいた。地域・県民から魅力ある学校として理解され、信頼を一層深めることができた。</p> <p>①学校通信6号発行。</p> <p>②③HPアクセス数51万件。連絡帳不使用。</p> <p>④学校説明会8回実施(前年5回)。参加者数は各回とも人数を制限し、2853名(前年4586名)。12月進路希望状況調査1.78倍(前年1.96倍)。</p> <p>⑤PTA主催講演会を地域の方の参加も募り、3月実施予定。</p> <p>⑥学校紹介動画、施設紹介「スクールビュー」、「西高Q&amp;A」をHPに掲載。</p> <p>2 コロナ禍のなか、諸活動が縮小または中止となり、生徒が地域との交流活動や社会貢献活動を通して学ぶ機会が多く失われた。</p> <p>①小学校交流事業中止。中学校出前授業は中止し、代替企画として教員講話を実施。</p> <p>②斜面林友の会15名参加。他のボランティア・市民活動・交流活動は中止または参加見合わせ。</p> <p>③生徒会と連携したマナー指導等実施せず。</p>	A	<p>・地域・県民のニーズにより合致した情報提供を目指す。</p> <p>・コロナ禍のなかで各種活動をどのように実施していけばよいか検討する。</p>
3	<p>「自主自立」の精神のもと、自己管理能力を身につけた生徒が増加している。今後、リーダーとしての資質をより一層向上させるためには、チャレンジ精神を持って、自ら考え行動できる生徒を育成する必要</p>	<p>学習面・生活面で自己を管理し、部活動や生徒会活動に積極的に参加することで、「西高力(自ら考え、課題を発見し、その課題を解決する力)」を育成する。</p> <p>国際社会で貢献・活躍するリーダーとなる人材を育成する。</p>	<p>1 自己管理能力の育成</p> <p>①朝学習・家庭学習の奨励・支援(Classi等の活用)</p> <p>②部活動・生徒会活動・学校行事の充実(新型コロナウイルスの影響等を考慮しながら行事等を精選する)</p> <p>③自己管理能力(目標・時間・生活)の育成(アンケート等の活用)</p> <p>2 グローバル(異文化理解)教育の推進</p> <p>①オーストラリア交流事業(今年度中止)の代替となるグローバル人材育成策の検討</p> <p>②留学生の受入、海外派遣事業への参加</p>	<p>①授業以外の自主的学習時間の増加</p> <p>②部活動加入率:95%以上</p> <p>生徒会活動・学校行事:執行部参加生徒数の増加</p> <p>③年間遅刻者数10%減</p> <p>①代替策等への参加者数</p> <p>②海外派遣・異文化交流への応募・参加生徒数</p>	<p>1 学習面・生活面で自主的に行動し、部活動や生徒会活動に積極的に参加し、生徒は自己管理能力を高めることができた。</p> <p>①朝学習はほぼ全生徒に定着。家庭学習は生徒により学習時間のばらつきがある。</p> <p>②部活動加入率は96%(兼部含)。前年同95%。生徒会活動は体育祭・文化祭は中止。代替企画として「リモート文化祭」(各団体の活動紹介動画を配信)を実施。学年単位で文化的行事・体育的行事を実施。</p> <p>③2学期末までの遅刻数は898回(前年同期800回)。</p> <p>2 コロナ禍の中、留学生が早期に帰国し、また、短期留学事業が中止となったが、代替企画を実施し、生徒に異文化理解を深めさせるとともに、グローバル社会で活躍する意識と能力を育ませることができた。</p> <p>①オーストラリア交流事業中止。代替企画として9月、早稲田大学国際学生寮寮長を招き、講演会を実施。全校生徒が参加。</p> <p>②ボストン研修中止。代替企画として12月ISAエンパワーメントプログラムを実施。本校が幹事校となり県内4校(大宮・浦和一女・早大本庄・大宮北)が参加。本校生徒は12名参加。</p>	B	<p>・家庭学習時間の増加を図る。</p> <p>・交通マナーを守り、安全に行動できるよう指導する。</p> <p>・コロナ禍のなかで、グローバル教育をどのように実施していけばよいか検討する。</p>

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	10名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	11名

(書面審査及び意見書の提出による)

学 校 関 係 者 評 価
実施日 令和3年2月19日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>・大学入試改革とコロナ禍の不安の中で、多くの生徒が第1志望校に挑戦できたこと、同時に旧AO・推薦入試でも前年程度の合格者数を維持したことは素晴らしい。生徒の意識と学力を高める先生方の指導の賜物である。次年度に向けては、大学入学共通テストの動向把握を着実に進めつつ、新学習指導要領に対応した学習指導体制を構築していただきたい。</p> <p>・個々の先生の積極性と、研修会等組織的な取組が両輪となり、西高のICTスキルとそれを用いた授業力が大きく向上した。生徒の授業満足度87.9%、CAN-DOリスト達成率82.7%はどれも素晴らしい成果である。今後もICTスキルの向上に努め、対面とオンラインをそれぞれ有効に活用し、生徒の学力向上を一層推進していただきたい。</p> <p>・西高の魅力度について、従来からの情報発信を着実に継続しつつ、学校紹介動画、西高Q&amp;Aの掲載、施設紹介「スクールビュー」の導入等、新規に情報発信の方法を拡充させたことは素晴らしい。また、コロナ禍の中、感染拡大防止策を徹底した上で、土曜公開授業、学校説明会、部活動見学会・体験入部、PTA・後援会主催「よしみ西高(講)座」、斜面林友の会の活動等を、制約が多い状況下でも最大限実施できたことはよかった。</p> <p>・一方、コロナ禍の中、生徒が地域との交流活動や社会貢献活動に取り組む機会が多く失われたことは残念である。対面とオンラインの双方を有効に活用し、実施方法を検討していただきたい。</p> <p>・朝学習や、Classi等を活用しての家庭学習等が定着し、学習を自己管理する力がついてきている。部活動加入率も高く、学校行事に対しても、体育祭・文化祭の代替企画「リモート文化祭」を実施したり、学年単位で文化的行事・体育的行事を実施する等、積極的に取り組むことができてきている。「西高力」の育成が推進されており、素晴らしい。今後は交通マナー等、登下校中の行動についてもより多くの生徒が自己管理できるようご指導いただきたい。</p> <p>・コロナ禍で渡航を伴う国際交流が中止となる中、代替企画として講演会や国内研修会を実施し、国際社会で貢献・活躍するリーダーとなる人材の育成を推進できたのはよかった。今後は、オンラインを活用した交流事業の企画・立案にも取り組んでいただきたい。</p>